

田川市新中学校創設に関する
アンケート調査報告書
(一般住民用アンケート)

平成30年12月

田川市教育委員会

1 調査の主旨

昨年9月に作成した「田川市新中学校創設基本計画（案）」（以下、「基本計画（案）」という。）について、その周知と理解を図るため、地域住民や保護者を対象に説明会や懇談会を実施してきた。

今回のアンケート調査は、今後、基本計画を策定するにあたり、住民や保護者の基本計画（案）に対する周知度及び理解度を図り、今後、基本計画を策定する上での参考とするためのものである。

2 調査期間

平成30年9月3日（月）～14日（金）（12日間）

※より多くの意見を反映するため、9月28日（金）までに届いたアンケートを集計対象としている

3 調査対象

中学校再編については、最も影響を受けるのが学校に通う子どもとその保護者であることから、今回のアンケート調査は、一般市民を対象にしたアンケートと、小中学校及び未就学児の保護者を対象としたアンケートに分けて実施することとした。

なお、本書では、一般市民を対象としたアンケートについて、その調査結果を示す。

(1) 配布・回収数

対象者：18歳以上の市民から無作為に抽出

	今回	前回（※1）
配布数	2,000枚	1,500枚
回収数	650枚	302枚
回収率	32.50%	20.13%

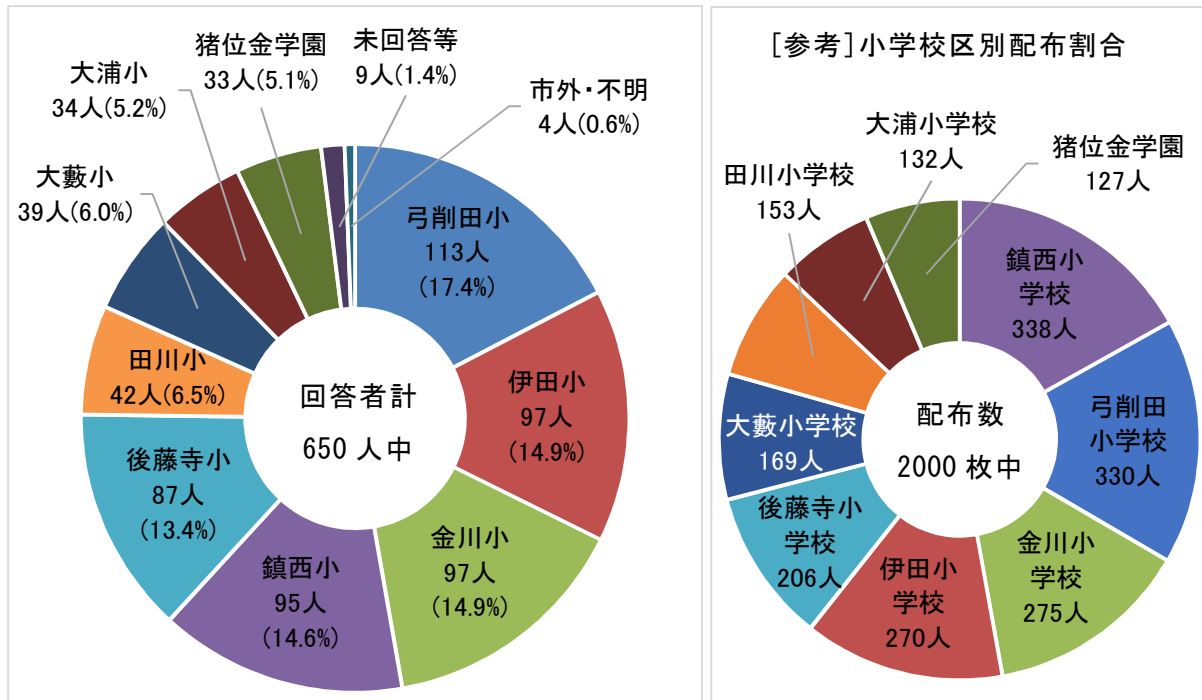
[参考] 8月1日現在の校別世帯数と一般住民用アンケートの配布数

小学校区	世帯数	世帯割合	配布数	配布割合
猪位金学園	1,556	6.35%	127	6.35%
弓削田小	3,812	15.56%	330	16.50%
後藤寺小	3,084	12.59%	206	10.30%
大浦小	1,958	7.99%	132	6.60%
大藪小	1,643	6.71%	169	8.45%
田川小	2,179	8.90%	153	7.65%
鎮西小	4,132	16.87%	338	16.90%
伊田小	3,114	12.71%	270	13.50%
金川小	3,017	12.32%	275	13.75%
計	24,495	100.00%	2,000	100.00%

※小学校区別に世帯割合と配布割合を比較すると、ほぼ同じ割合であった。

4 調査結果（一般住民用アンケート）

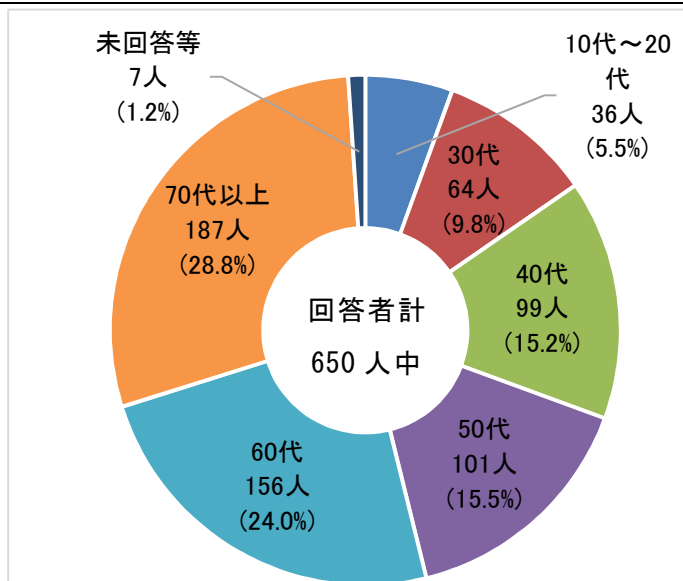
問1 あなたのお住まいは、どの小学校区にありますか。



※未回答等…未回答、無効な回答を含んだ数（以下、同様）

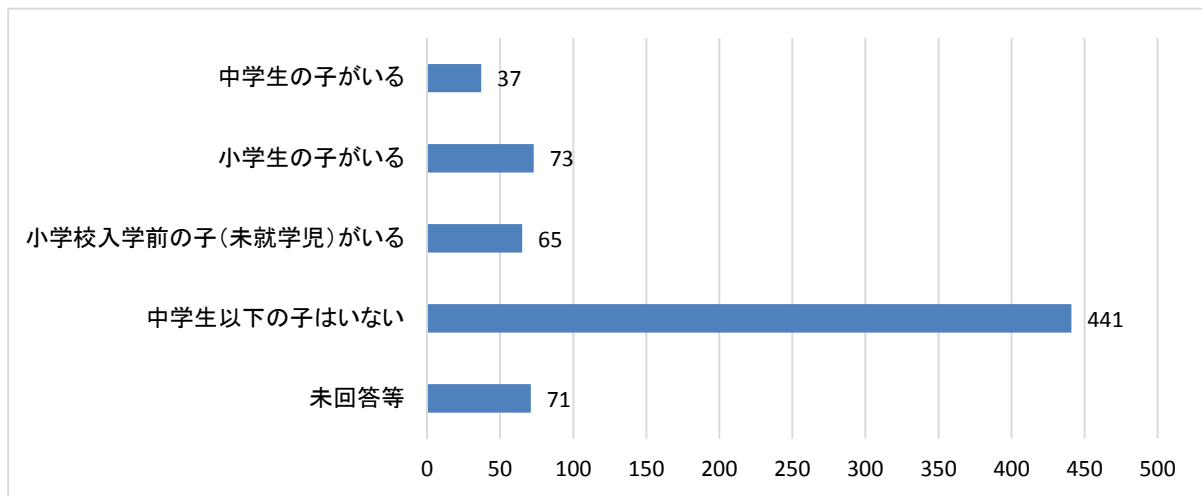
回答者の小学校区の割合は弓削田小、伊田小、金川小校区の順に多かった。また、回答者の小学校区割合と、配布時の小学校区別割合を比較すると、一部順番は前後するものの、ほぼ等しい結果となった。

問2 あなたの年齢について教えてください。



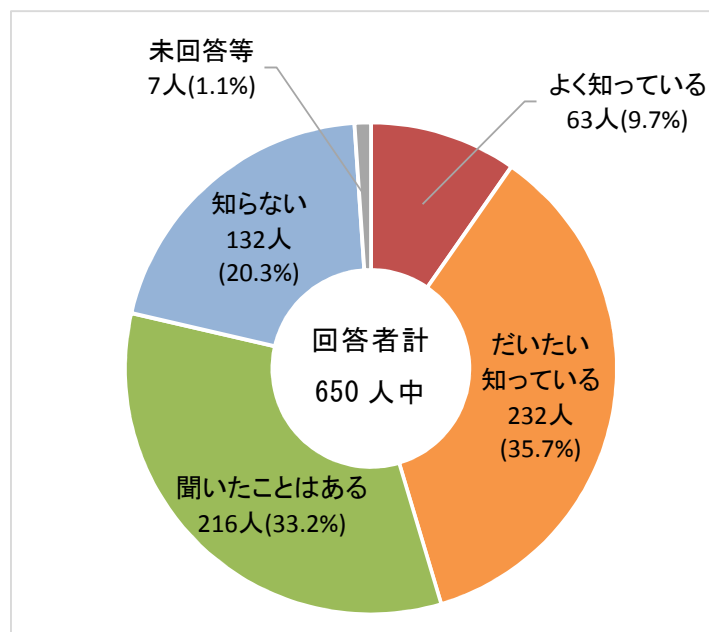
回答者の年代割合は、60代~70代以上が最も多く、全体の約半数を占めた。ついで50代、40代、30代と続き、10代~20代が最も少なかった。

問3 あなたには現在、中学生以下の子どもがいますか。(複数回答可)



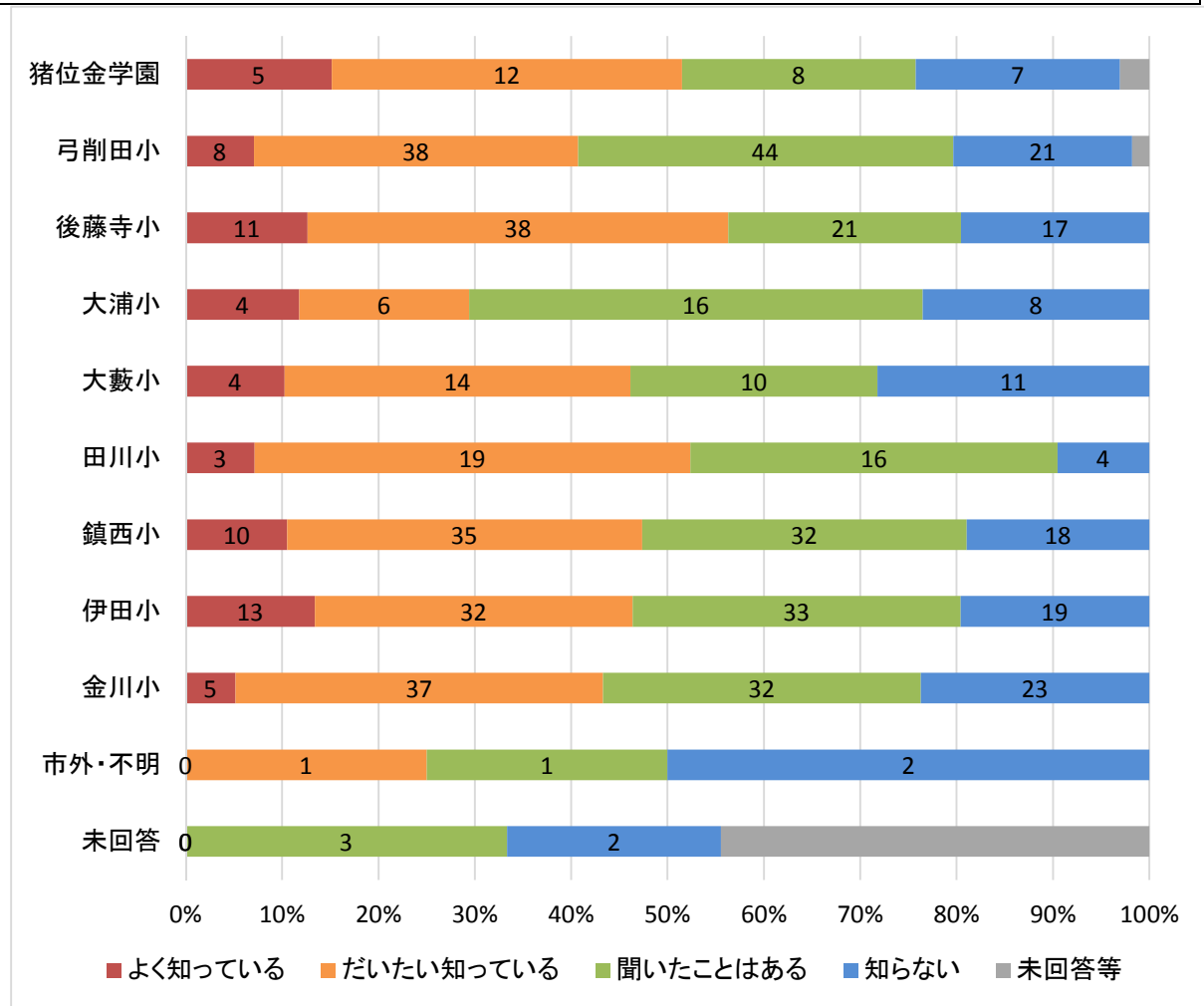
「中学生以下の子はいない」と答えた人が最も多く、約7割を占めた。ついで「小学生の子がいる」、「小学校入学前の子(未就学児)がいる」の順に多い結果となった。

問4 市内の中学校を2校にする(猪位金学園を除く)ことについて、その内容をご存知ですか。



「よく知っている」「だいたい知っている」「聞いたことはある」の割合をみると、全体の約8割を占めており、中学校を再編することについて、一定の周知がなされていることが分かった。

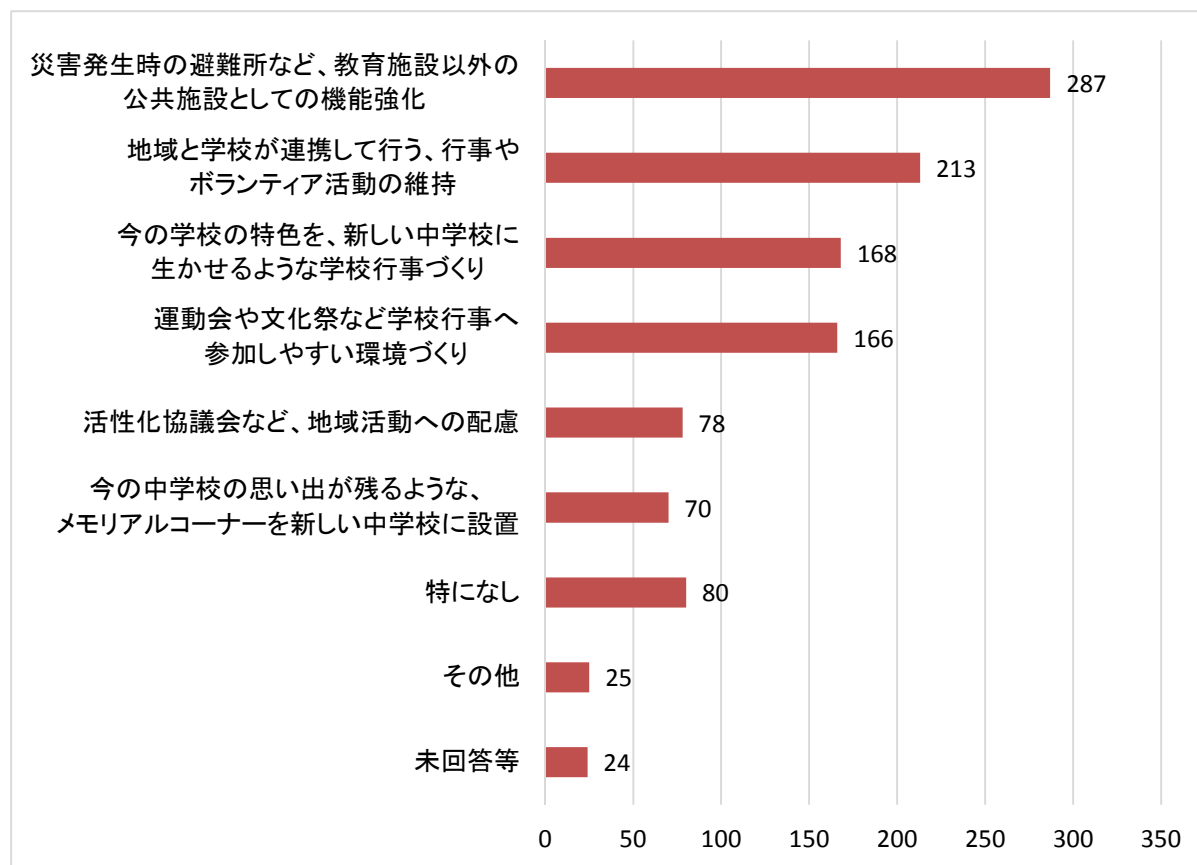
問4 中学校再編に対する認知度を小学校区別に集計した結果



いずれの校区でも「よく知っている」「だいたい知っている」「聞いたことはある」の割合が7割以上を占めており、中学校を再編することについて、全校区で一定の周知がなされていることが分かった。

問5 新しい中学校を作るにあたり、地域との関係については、以下のことに取り組んでいく予定です。特に力を入れてほしいものを2つまで選んでください。

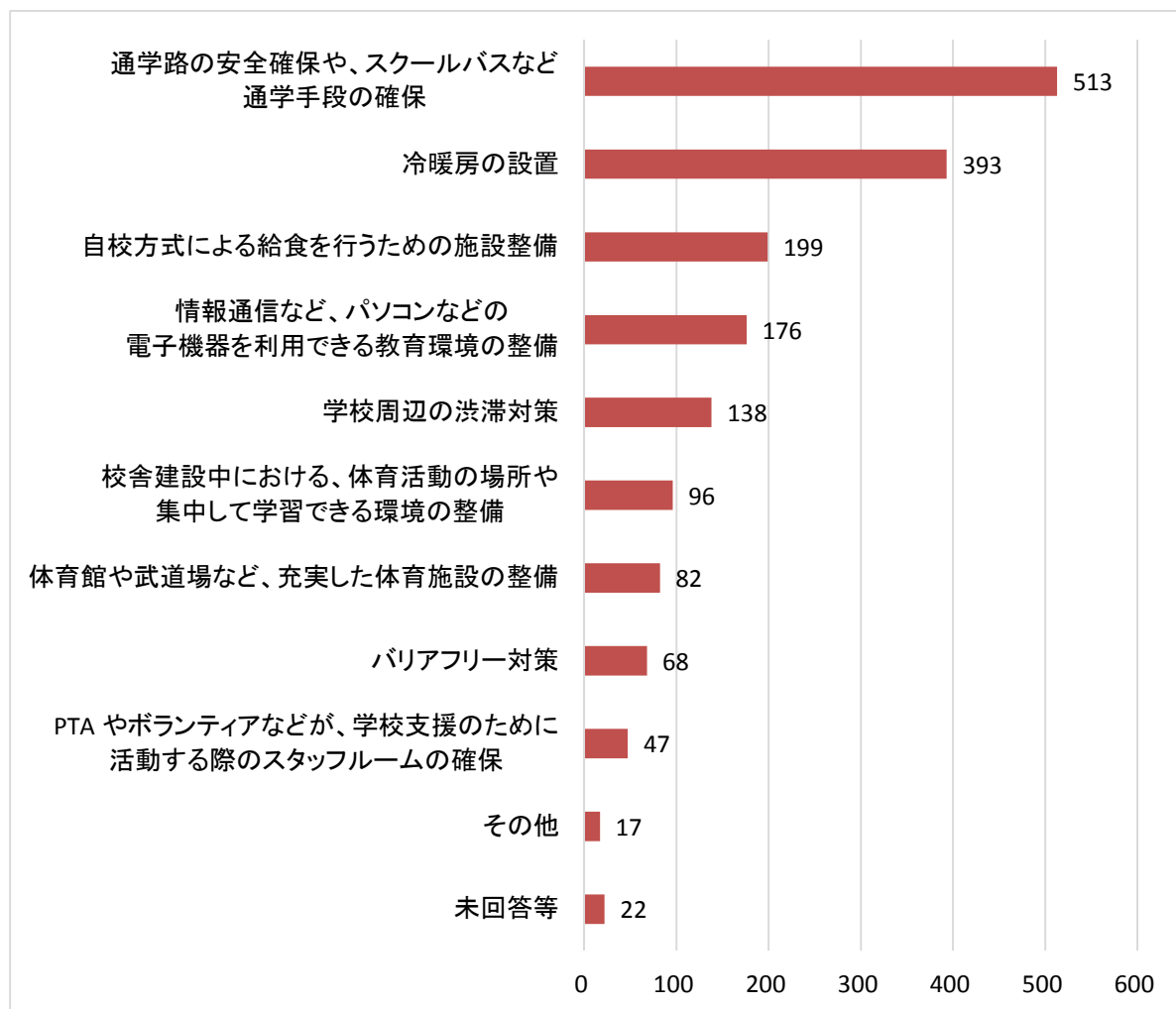
(複数回答可)



「災害発生時の避難所など、教育施設以外の公共施設としての機能強化」など、公共施設としての機能強化に力を入れてほしいと望んだ人が過半数に近い数を占め、最も多かった。ついで、「地域と学校が連携して行う、行事やボランティア活動の維持」など、地域連携行事に力を入れてほしいと望む人が約3割と続いた。

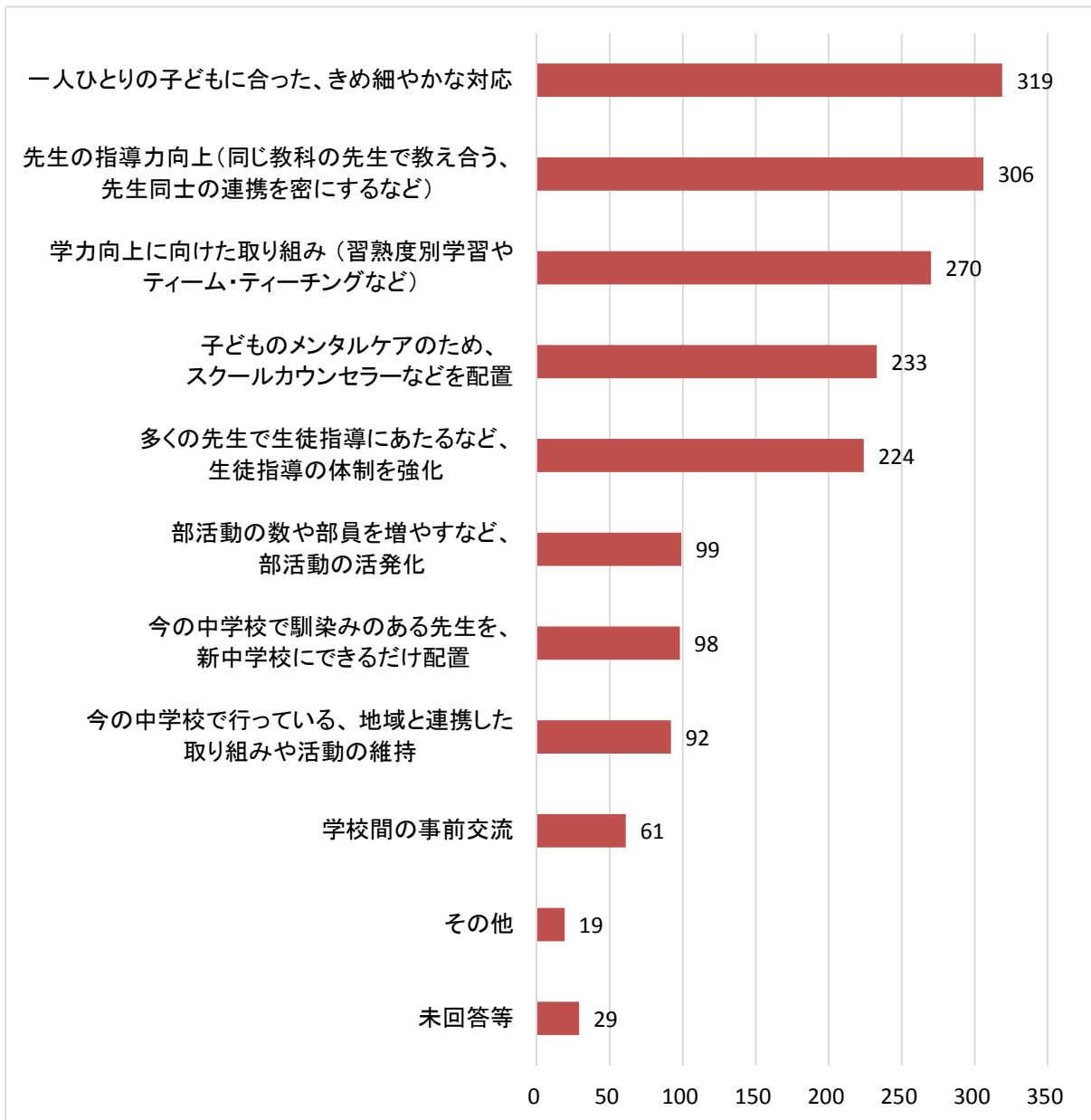
問6 新しい中学校を作るにあたり、ハード面（校舎や体育館、通学路など）およびソフト面（教育方針や生活指導、地域との関係など）については、以下のことに取り組んでいく予定です。【ハード面】【ソフト面】について、特に力を入れてほしいと思うものをそれぞれ3つまで選んでください。（複数回答可）

【ハード面】



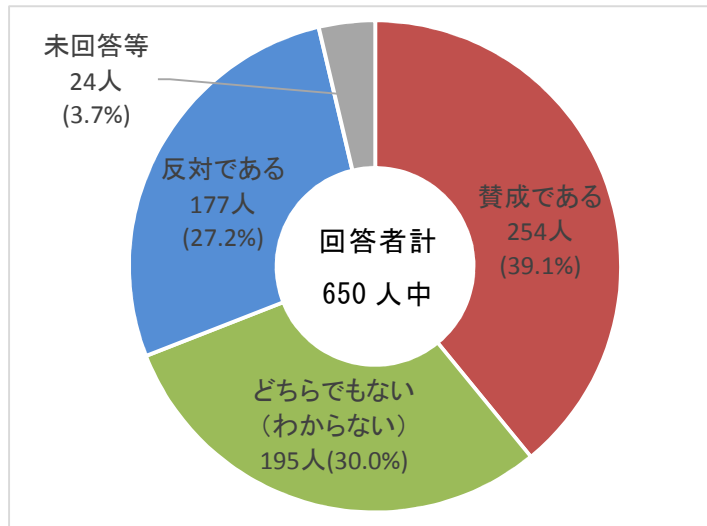
「通学路の安全確保や、スクールバスなど通学手段の確保」など、通学に関することを選んだ人が約8割、ついで「冷暖房の設置」を選んだ人が約6割おり、新中学校のハード面では、この2つについて特に力を入れてほしいという人が非常に多いことが分かった。

【ソフト面】



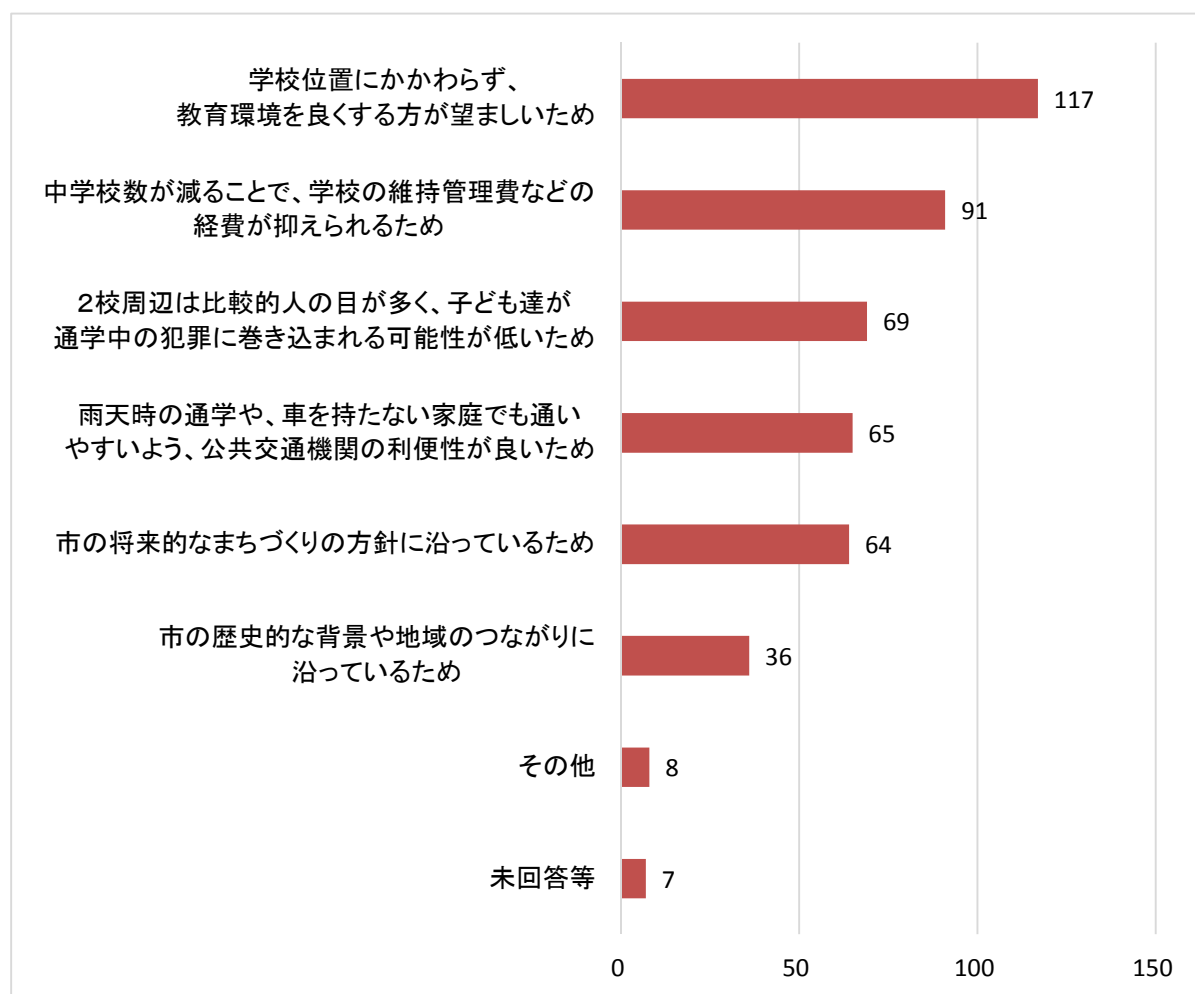
「一人ひとりの子どもに合った、きめ細やかな対応」など、子ども達一人ひとりに合った生徒指導や学習指導を選んだ人が約半数と最も多かった。ついで「先生の指導力向上(同じ教科の先生で教え合う、先生同士の連携を密にするなど)」を選んだ人が約半数、「学力向上に向けた取り組み(習熟度別学習やチーム・ティーチングなど)」を選んだ人が約4割と、学習面に関することを選んだ人が多かった。

問7 「田川市新中学校創設基本計画（案）」では、猪位金学園を除く、市内7中学校をすべて廃止し、現在の伊田中学校と後藤寺中学校の敷地に新たに2校の中学校を創設することとしています。現在の伊田中学校と後藤寺中学校の敷地に新たに2校の中学校を創設することに賛成か反対か、あてはまるものを選んでください。



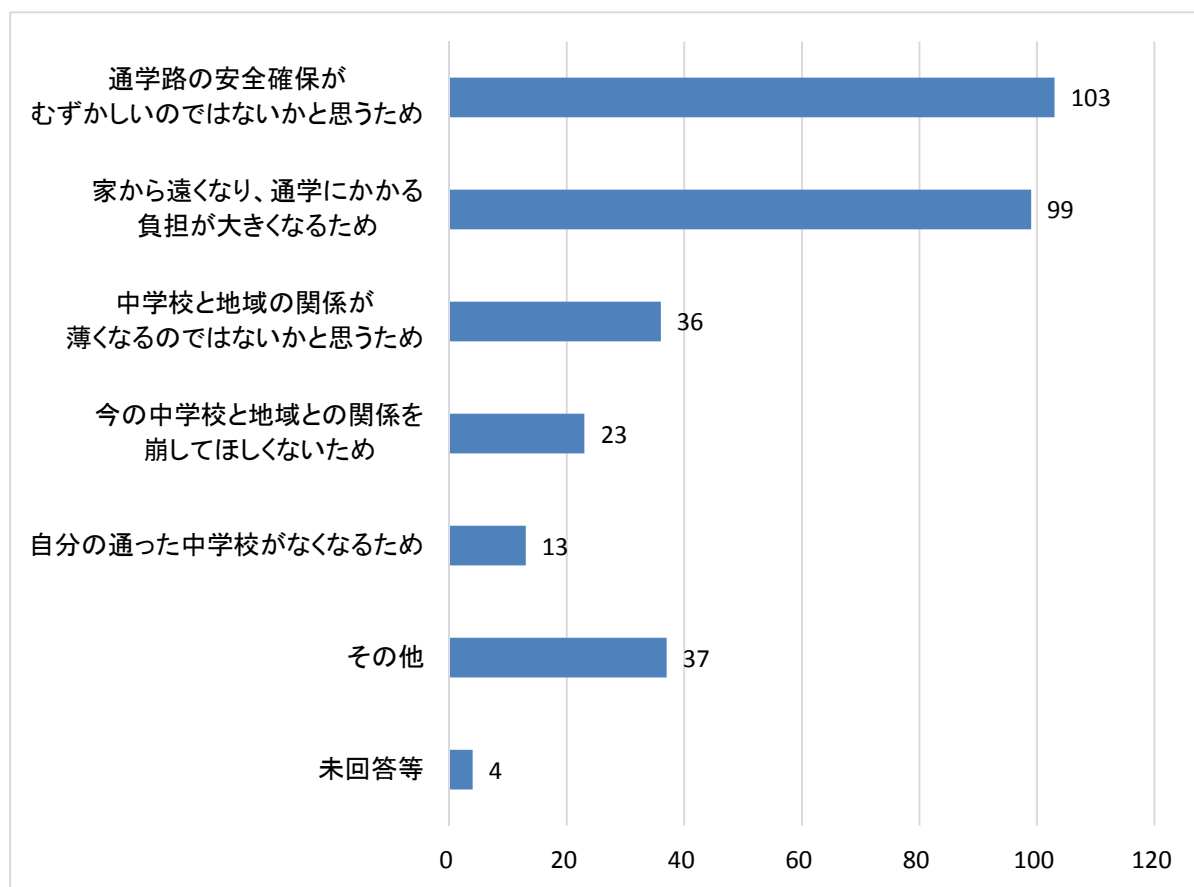
「賛成」「反対」「どちらでもない」は同程度であった。しかし、最も多かったのは「賛成」である。ついで「どちらでもない」、「反対」の順に多かった。

問8 前問（問7）で「賛成である」を選んだ方におたずねします。選んだ理由について、あなたの考えに近いものを2つまで選んでください。（複数回答可）



問7で「賛成である」を選んだ人のうち、「学校位置にかかわらず、教育環境を良くするほうが望ましいため」など、学校再編による教育環境の向上を賛成理由に選んだ人が約半数を占め、最も多かった。ついで、3分の1超の人が「中学校数が減ることで、学校の維持管理費などの経費が抑えられるため」など、財政面を賛成理由に選んだ。

問9 前々問（問7）で「反対である」を選んだ方におたずねします。選んだ理由について、あなたの考えに近いものを2つまで選んでください。（複数回答可）



問7で「反対である」を選んだ人のうち、約6割が「通学路の安全確保がむずかしいのではないかと考えるため」、「家から遠くなり、通学にかかる負担が大きくなるため」など、通学に関することを反対理由に選んでおり、最も多かった。